

福田寺だより

発行

神奈川小田原市飯田岡二五七

飯田山 福田 田 土守

住職 橋本尚信

本堂落慶十周年記念 本尊薬師如来御開帳

大法会厳修

平成十一年五月七日

平成十二年は、世紀の変換の年として世界的にも節目の年ですが、福田寺にとっても大きな節目の年であります。

先ず、本堂落慶（平成二年四月二十九日）から十年が経ちました。今でも、当時の思い出を感慨深げに話して下さる方が随分とおられる事はいろいろな意味で福田寺にとって大きな歴史的一幕であった訳です。

あれから丁度十年が経過しました。

次に、本山（京都・東寺）が創建一千二百年を迎えて、平成七年から記念の法要や事業を続けていますがその最後の仕上げの法要が、来る平成十二年に営まれます。この事業の一環として、末寺である福田寺は本尊薬師如来の修復を致しました。ご存じのように当山のお薬師様は、室町く南北朝時代のもので近在の人

々から信仰されてきた本尊様です。更に、先代真栄和尚の三十三回忌に当たる年でもあります。

以上のことから、来る平成十二年が福田寺にとりまして、大きな節目の年であることはご理解いただけたことと存じます。

これらを鑑みまして、記念法要を厳修する運びとなりました。法要の日は平成十二年五月七日（日）、趣旨は標記の如く『本堂落慶十周年・本尊薬師如来開帳記念法要』であります。

詳細につきましては、追ってご連絡いたしますが、稚児行列も予定しておりますので、各ご家庭でも心に止めておいていただければと思います。

ご本尊様のお姿を拝んでいたたくは檀信徒の皆様には初めてのことで存じます。どうぞお楽しみに。

尚、先代の法要は、二月中に内々で営みますのでご諒承下さい。

和尚さんのひとりごと

1 お寺にいと、実にいろいろな質問を受けるものです。

5 古来から山は神聖なものとして崇められてきたよね。寺も聖域な場所としての意味を表わしたものだよ。

6 他にどんな質問が多いですか

11 菩提寺の宗派によって、いろいろだけれども、福田寺の場合は、真言宗だから『南無大師遍照金剛(なむだいにへんじょうこんごう)』が基本で、あと時間がある時は『般若心経』や他の真言をお唱えすればいいよ。

15 とにかく、自分勝手に考えないで、些細な事でも聞いてくれるのが一番ですね。

2 それいけお寺のことが分かりにくいのかな。

4 そう言われれば、寺には必ず山号がついてますね。あれはどうしてですか？

7 線香は何本あげるのかとか、仏壇に毎日何を供えるかとか、家の方位とか。

10 ご本尊様や仏壇の前でお唱えする呪文の様なものは何が正しいの。

12 この機会にお寺で頂いた『東寺真言宗 在家修行法則』を聞いてみよう。

14 各家族化、少子化という社会現象の結果ですね。

3 先日は、寺の名前の他に『○○山』と言ったりするけど何故かって。福田寺の様に平地にあるのに、『飯田山』って付いてるのが不思議だと思

8 確かに和尚さんに聞きたいことってたくさんあるんですよ

9 遠慮しないでどんどん聞いてくださいよ。その方がこちらもお話しやすい。

13 それから、何といっても最近多いのは、誰が先祖を祀るのか、先祖供養をどうやって継承して行くか。

16

16

お稚児さん募集

一面でご案内の通り、来る平成十二年五月七日に、大法会を修行致します。稚児行列も予定しておりますので奮ってご参加下さい。申込みの詳細が決まりましたら追ってご案内いたします。

団 参 募 集

平成十二年五月七日の大法会の後、高野山を中心とした団参を予定しています。詳細がきまりましたら、追ってご案内致します。

ご 詠 歌 始 め ま せ ん か

飯田岡支部のご詠歌講員も二十九名と増えて参りました。何かお稽古事をと考えておられる方、是非ご詠歌を始めてみませんか。声を出す事が健康の元と、みのさんも言っています。

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

恒例の新年厄除け護摩を一月八日

午後一時より修行致します。護摩を

焚く修行は、近年いろいろな所でさ

れていますが、正統に受け継がれて

いるのは密教寺院であります。福田

寺は、京都・東寺を本山とする真言

密教の寺で、創建以来八百六十三年

、密教寺院としての歴史を刻んで参

りました。

檀家以外の方でも勿論結構ですの

で、皆様お揃いで新年の護摩供養に

お参り下さい。

記

期日・・・一月八日、午後一時より

祈禱料・・・三千元

祈禱内容・・・厄難消除(厄よけ)

身体健全、病魔退散、家内安全、

交通安全、商売繁盛、業運繁栄、

学業成就、合格祈願、安産祈願、

子授け祈願、その他

申し込み・・・一月七日まで、電話可

電話 0465(36)2755

FAX 0465(37)6688

男性

平成十二年厄年

前厄 昭和三十五年生まれ

本厄 昭和三十四年生まれ

後厄 昭和三十三年生まれ

女性

前厄 昭和四十四年生まれ

本厄 昭和四十三年生まれ

後厄 昭和四十二年生まれ

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職に

より新年の御祈禱が修法されま

す。今世紀最後の年の初詣に、

ご自由に参拝ください。

暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、

暮れのお参りの時に、本堂入り

口に用意された納め場所に納め

て下さい。特に大きなものや、

燃えないものは、寺の者に連絡

してください。

おむすびを誂む会

毎月十五日

夜七時半より一時間

参加費用 一人百円

通算、八十回になりました。一

月から、また新たな内容になり

ます。お気軽に参加下さい。